

# 横浜市立鶴見小学校 平成29年度 体育・健康プラン

## ～体育・健康に関する指導の全体計画～

### 1 中期学校経営方針

#### (1) 学校経営中期取組目標

学校経営中期取組目標	
○活動や体験を通して身近な「人・もの・こと」に進んでかかわり、問題を見つけたり自分なりに工夫して問題を解決したりする楽しさを味わおうとする子どもを育てます。	
○まちとの関わりを通して、まちのよさや人々の思いに触れ、社会のルールや自分自身のあり方を考え、思いを実現しようとする子どもを育てます。	
○遊びや学習など、日々の生活において友だちとかかわる楽しさを味わい、互いのよさを知り、協力して集団生活を楽しいものにしようとする子どもを育てます。	

#### (2) 体育・健康に関する指導の重点取組分野・取組目標・具体的取組

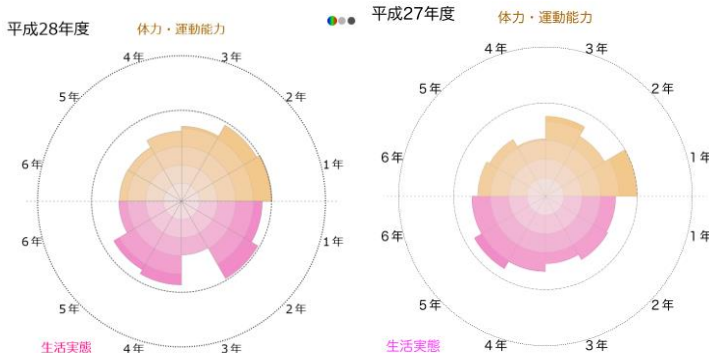
重点取組分野		取組目標	具体的取組
担当	健全な体	・発達段階に合わせた体力向上への取組。 ・健康・保健に関する意識の向上。 ・食育指導による食への意識向上。	① 休み時間の外遊びを通して、体を動かす楽しさを味わわせ、継続して遊びに取り組むようにする。 ② 保健や学活の時間で自分の体の成長発達を意識できるようにし、スポーツテストの分析結果に基づき、体力づくりについて考え、適切な方法で継続的に取り組むようにする。 ③ 栄養教諭や給食委員会と連携し、給食を通して栄養の摂取やバランスのよい食事・マナーなど、食育に関する指導を行う。
	保健・安全・食育		

### 2 体育健康に関する実態把握

#### (1) 体育・健康に関する実態

- ・16か月にわたる校舎新築工事のため、校庭が狭くなり、休み時間も体育も活動が制限されていた。そのため、ほぼすべての種目で、市の平均を下回っている。
- ・放課後の過ごし方において、よく体を動かしている児童とそうでない児童との間に体力の二極化が見られる。
- ・朝食を摂取している児童は多いが、早寝早起き等の規則正しい生活習慣に対する意識があまり高くない。
- ・話し合いの中で、自分の思いを表現することが苦手な面が見られ、コミュニケーション能力の育成が課題。

#### (2) 体力の概要と要因の分析（小学校は全校配付の体力・運動能力調査分析チャートを活用）



ほとんどの項目が市平均を下回っている。特に20mシャトルラン・立ち幅とびが下回る。投能力については、運動経験の少なさが影響しているものと思われる。

### 3 体育・健康に関する具体的取組

#### 教科

##### 《体育科・保健体育科での取組》

- ・運動の特性に触れながら、各学年で身につけさせたい技や動きを身につけさせる。（技能の系統表を掲示）
- ・意欲的に学習に取り組むために、自分のめあてをしっかりとたせる。（学習カードの活用）
- ・一人一人がめあてを達成するために、互いのよさを認め合ったり学び合ったりする活動を通して、有用感がもてるように体育学習の充実を図る。
- ・体の発育、けが・病気の予防等保健学習の系統性を重視。

##### 《他教科での取組》

- ・家庭科：食育学習（栄養、食、健康）との関連を図った指導。
- ・生活科：遊びの工夫、安全な生活についての指導。
- ・理科：体のなりたち、生命と環境についての指導。
- ・道徳：生命尊重、ルールを守る等体育学習に関連する指導。

#### 道徳・特活・総合

- ・新体力テスト
- ・運動会・体育大会・球技大会(区、市)・なかよし活動(ペア学年)・健康診断
- ・各種検診・遠足、体験学習、修学旅行・避難訓練等 安全指導
- ・児童指導

#### 課外活動

- ・放課後等を活用した外遊びの推進
- ・休業日（土日祝日）の学校開放（サッカー、野球クラブ）
- ・学校だより、保健だより、給食だより
- ・学校保健委員会

#### 平成29年度 鶴見小学校 体力向上1校1実践運動

《名称》 児童がつくる「体力向上の取組」

《ねらい》 運動機会の確保・体力向上

《内容》 ・運動委員会による朝会体操(本校独自のストレッチ)

・マラソン週間(12月の3週間、中休みに運動委員会主催で実施)

・集会委員会による短縄、長縄集会(2月の昼休みに実施)

●指 標： ①活動後の振り返り 「事前取組」 「満足度」  
②生活実態調査「運動やスポーツの実施状況」 「1日の運動スポーツの実施時間」 から  
検証する。

<参考> 学習指導要領総則 「学校における体育・健康に関する指導は、児童（生徒）の発達段階を考慮して、学校の教育活動全体を通じて適切に行うものとする。」